

在京花巻人

発行 在京花巻人会
連絡事務所

東京都千代田区飯田橋
4-4-8 東京中央ビル603号
電話 03-6256-8082

令和3年度の活動方針

在京花巻人会 会長 瀬川 紘一



新型コロナウイルスの感染者数は4月以降再び増加が続いていますが、今年もすでに年の半ばを迎えました。この会報が皆様の手元に届く頃には、東京オリパラ2020の開催が中止が決まっていると思えますが、私達の「在京花巻人のつどい」は延期することに決定させて頂きました。

7月開催に向けて色々と感染防止策を検討してまいりましたが、第4波の状況が大変厳しいと予測されることから、11月への延期を決めた次第です。開催日は11月28日(日)11時~14時、会場は同じ御茶ノ水の東京ガーデンパレスです。会

報の10月1日号で改めてご案内致しますので、ご参加の程よろしくお願ひ申し上げます。

会員の皆様にお諮りする

予定の令和2年度活動計画と決算、令和3年度の活動計画と予算につきまして、総会が年度の後半になってしまいますが、ご了承頂きたくよろしくお願い致します。

それにしてこの1年

有糸、新型コロナウイルスによる感染症が私達の生活と社会に大きな衝撃を与えています。私達はこのパンデミックをどう受け止め、今後の生き方や社会のあり方をどう変えて行かねばならないのかが問われているように思っています。

この問題について、私は二人の学者の示唆に大いに感銘を受けました。一人はウィルズ学の権威

で東京大学名誉教授の山内一也氏、今一人は生命科学者でJ-T生命誌研究館名誉館長の中村桂子氏です。山内氏は「ウイルスが地球上に現れたのは30億年前、人類はたかだか20万年前、人間はウイルスの根絶より共生を考

えるべき」と述べ、「私達が戦うべきはウイルスではなく、コロナ禍を招いた我々の社会自体の問題だ」と指摘します。又、中村桂子氏は「ウイルスも人間も全ての生き物はDNAを持っていて

共通の祖先を持ち、38億年の進化を経て現在に至っており、人間は自然やあらゆる生き物の一部である」と主張しています。さて、この二人の示唆

で考えるのはやはり「地方」の大切さです。ふる里にこそ、「私達の生き方や社会のあり方」につ

ながる何か大切なものがあるように思えるのです。自然との共生やそれを支える共同体など、地方が持つその何か大切なものの正体が、少しは見えてきたように感じます。

それでは、令和3年度の在京花巻ふるさと会の活動方針について述べたいと思ひます。令和3年度も、基本の方針は会員同士の交流と親睦、そして花巻市の活性化への貢献の二本柱です。

まず会員の交流と親睦ですが、会員同士そして花巻にゆかりのある方々を結ぶ大切な媒体である会報は、何とか年3回8頁建てで発行を続けま

す。又、既に述べたように、最大のイベントである「在京花巻人のつどい」は、7月を延期し11

月28日(日)に開催を予定しています。人気のイベント「歩こう会」は、今年3月の計画が中止となつておりますので、秋には実施したと思ひます。

花巻市の活性化への貢献ですが、まず首都圏の花巻観光物産展への応援と動員です。主要な物産展は年度前半には開催が難しいと思われま

す。又、地元花巻の首都圏での情報発信は、会報やメルマガ「熊タイムズ」を通じて積極的に行いたいと思ひます。

なお、「ふるさと支援ツアール」の実施については、いつ頃どんな形で実行が可能か、石鳥谷、東

和の在京ふるさと会と一緒に検討してみたいと思ひます。

以上、今年度の具体的な活動計画については、11月28日開催の「在京花巻人のつどい」の総会の一部でご提案させて頂きます。是非ご参加の上ご審議下さいませすよう、よろしくお願ひ申し上げます。

会費納入のお願いと納入状況の報告

1. 令和3年度会費納入のお願い

在京花巻人会の運営にご協力を賜りありがとうございます。

花巻人会は会員の皆様からの会費で運営させて頂いております。会費は「花巻人のつどい」「会報の発行」「歩こう会」等に使用させて頂いております。令和3年度の会費3,000円は同封の振込取扱票(手数料不要)で最寄りの郵便局より下記の口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。

在京花巻人会 会長 瀬川 紘一

口座名義 在京花巻人会

口座記号番号 00240-6-111794

2. 令和2年度の会費納入のお礼と納入状況

2年度の会費納入金額は3月末現在241名723,000円、この他に3件の方から14,000円の寄付を頂き合計737,000円でした。会員皆様のご理解とご協力に感謝とお礼を申し上げます。

会計担当 高橋良光 板垣雅子

令和3年度 第35回「在京花巻人のつどい」延期のお知らせ <7月から11月に延期します>

日時: 令和3年11月28日(日) 11時~14時
会場: 東京ガーデンパレス
住所: 東京と文京区湯島1-7-5
電話: 03-3813-6211
アクセス: JR御茶ノ水駅聖橋口

会員の活動報告コーナー

瀬川貴範さんがJAいわて花巻フォトコンテストで最優秀賞



役員とともに行われまし
た。その結果、在京花巻
人会の理事瀬川貴範さん
(埼玉県さいたま市在住)
の写真が最優秀賞に選ば
れました。写真のタイト
ルは、「新春の奉納」、撮
影地は花巻市矢沢の「胡
四王山」です。

講師は「猿田彦命を先
頭に雪の階段を上る人た
ちの厳かな雰囲気は伝わ
り、後方の松明(たいま
つ)とのバランスが絶妙
です。」と絶賛されてい
ます。

瀬川さんの一家は写真
家ぞろいで、お父上の瀬
川正範さんが同じコンテ
ストで入賞(タイトルは
「一里の春まつり」、お
母さまの瀬川富子さんも
入賞(タイトルは「春つら
ら」)しています。(編集部)

瀬川貴範さん談

「最優秀賞に選んでい
ただき、名誉なことだと思
っています。今は地元
の花巻を離れています
が、いつまでも残りたい
地域の伝統行事です。無
病息災と五穀豊穡を祈る
祭りでもあり、現在はコ
ロナ禍のため皆さんに写
真を通じ、1年を元気に

JAいわて花巻では、
JA管内の魅力発信に繋
げようと、「いい土・い
い水・いい心」JA管内
に残したい風景」を
テーマにフォトコンテ
ストを開催しています。今
年の「2021オリジナル
カレンダーフォトコン
テスト」にはJA管内は
じめ県内外から15人、計
43枚の写真の応募があ
り、四季を感じる風景や
農作業風景、地域の伝統
行事・お祭りなどの写真
が集まりました。このコ
ンテストの入賞作品12枚
は「2021年JAいわ
て花巻オリジナルカレ
ンダー」に掲載されます。
審査は、「ぼろーの花
巻」でお馴染みの西和賀
町沢内在住の写真家高橋
定雄さんが特別審査員と
なり、JAいわて花巻の

過ごせるように伝えられ
たいと思います。」



「花巻物産カタログ」の配布について

昨年春頃から今年3
月まで、花巻観光協会が
実施する首都圏での主要
な物産展はそのほとん
どが中止となりました。
又、今後の新型コロナウイルス
の感染状況次第ですが、令
和3年度も半ば頃までは
首都圏での開催は難しい
状況です。このような事
態を受けて、花巻観光協
会では「花巻物産カタロ
グ」を作成し、首都圏の
皆様に花巻の物産品の購
入をお願いするというプ
ランを計画しました。

今年の1月、その配布
について在京花巻ふるさ
と会の会員に配布出来な

いかとの相談がありまし
た。石鳥谷と東和の在京
ふるさと会の会長、それ
に休会となつている大迫
の会長とも相談の結果、
是非協力しようとの意見
でまとまりました。それ
ぞれのふるさと会で会員
名簿から配布先・部数を
決めて頂き、在京花巻ふ
るさと会として会員に配
布し、花巻物産品の購入
をお願いすることにしま
した。既に、カタログを
受け取った会員も多いか
と思います。

今回各ふるさと会で
配布した部数は、合計
980部。在京花巻ふる
さと会から何か特典をつ
けて欲しいと要望してい
ましたが、花巻物産品を
セットでご購入いただく
と送料が無料となる特典
をつけて頂きました。



会員の皆様も新型コロナ
禍で不自由な生活を強
いられていると思います
が、花巻市の商工業者も
大変厳しい状況に直面し
ており、地元花巻が何と
かこの苦境を乗り越れる
よう会員の皆様にカタロ
グによる花巻物産品の購
入をお願いした次第です。
(編集部)

照井稔さん、小池弘子さんが理事を退任



在京花巻人会で長年理事を勤め
てこられた照井稔さん(湯本中30
年卒)と小池弘子さん(花巻中31
年卒)の二人が、今年3月を
もって理事を退任致しました。



照井さんは京急グループのOB
の経験を「在京花巻人のつどい」
や「歩こう会」などのイベントで
発揮され、会の活動に大いに貢献
されました。小池さんは女子美大
で育んだアート感覚を生かし、会
報「在京花巻人」の編集に長く携わり会報の発行に貢
献されました。

本当に長い間ご苦労様でした、そして有難うござい
ました。お二人の今後のご健勝を心より祈念いたしま
す。(編集部)

《訃報》 常任幹事 眞智悦子さんご逝去



理事 松村扶恵子
常任幹事の眞智悦子さんが令和2年12
月17日にご逝去なさいました。86歳で
した。ここに慎んでお悔やみを申し上
げます。

眞智さんは長い間理事として、又その後は常任幹事
として在京花巻人会のためにご尽力を頂きました。特
に、花巻中から花巻北高にかけての同級生の皆さんに
声をかけていただき、大勢の方が参加されて活動を支
えてくれました。心から感謝申し上げます。

残念でとても悲しいですが、眞智さんの遺志を受け
継いで頑張ろうと思います。

《はなまき あれこれ》

「令和2年度花巻市成人式」ウェブ配信で実施

令和3年1月9日に開催する予定だった花巻市の成人式は、新型コロナウイルス感染拡大のため、例年の一堂に会した式典をとりやめ、事前収録した動画を編集してウェブ配信しました。

動画は、上田東一市長や小原雅道市議会議長のお祝いのメッセージ、記念行事委員会の会長高橋薫司さん、副会長の小綿いくみさんの「二十歳の決意」、さらには同委員会企画による「中学時代の思い出」や「お世話になった人への感謝の気持ち」をあらわす映像など11本。動画は、ユーチューブの花巻市公

式チャンネルで2月15日まで公開されました。

この他、総合体育館とイトーヨーカ堂花巻店に「フォトスポット」が設置され、晴れ着姿の新成人たちは、感染症対策を行いながら二十歳の門出を祝う写真に納まっていました。

(広報はなまき2/1号、花巻市ホームページより)



令和2年度花巻市民憲章運動推進大会開催

花巻市民憲章は、誰もが住みよいと思えるようなまちにしていけるための指針や目標で、平成19年3月1日に制定されました。市は、市民憲章を通じたまちづくりを推進するため、市民憲章運動推進協議会が毎年「市民憲章運動推進大会」を開催。市民憲章の精神に基づく活動を長年実施している人たちを表彰しているほか、まちづくりに関する講演会を実施し、市民憲章の普及と実践に努めています。

又、同協議会では、市の次代を担う小学生を対象に、市民憲章に関心を持ち理解を深めてもらおうと標語を募集。令和2年度は応募総数317点の中から最優秀賞など14点を選びました。小学生の令和2年

度市民憲章標語表彰の最優秀賞の標語は、新堀小4年佐々木怜音さんの「ささえあい(支え愛)笑顔の花を飛ばそうよ」でした。

【花巻市民憲章】

わたしたちは、花巻市民としての誇りを持ち、早池峰の風がおる豊かな自然と文化を大切に、力を合わせて明るいイーハトーブの実現をめざします。

- 一、じょうぶなからだを持ち 深い知性を育てます
 - 一、すすんで働き豊かなまちをつくります
 - 一、ひととふるさとを愛し 世界への眼をひらきます
- (広報はなまき1/15より)

オリパラ東京2020のホストタウンでライトアップと動画制作

花巻市は、東日本大震災で被災した際に姉妹都市のある米国とオーストリアからの支援に感謝するため、両国の「復興ありがとうホストタウン」に登録しています。

去年8月に両国のオリンピック選手と交流する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期され、市では両国を応援するメッセージ動画を作成しました。内容は、宮澤賢治の「雨ニモマケズ」を市民の協力でリレー方式で朗読するもので、内閣官房オリパラ推進本部事務局が開設したホストタウン専用サイトで見られます。

もう一つのイベントは、同オリパラ推進本部事

務局が実施した「ライトアップ企画」に花巻市も参加。今年1月8日から17日まで、午後4時から午後9時まで、なはんプラザ北側ガラス面をライトアップ。内容は、5分間のカラーライティングプログラムで、オープニングでは希望や期待を現したカラー、本編では両国の国旗をイメージしたカラーを発信しています。この様子も同オリパラ推進本部事務局が開設したホストタウン専用サイトで見られます。

(広報はなまき11/15号、同2/15号より)



花巻でも「移動販売車」が活躍

花巻市でも「近所に食料品店が無い」「車の運転ができません、外出が難しい」といった人のほか、新型コロナウイルス感染症の拡大により外出を控えている人が増え、食料品や日用品を販売する移動スーパーの需要が高まっています。「まちづくり市民アンケート」によると、二割以上が市内の買い物に不満を持っています。

そのような状況下、日常の買い物の機会を提供しようとイトーヨーカ堂花巻店とAコープゆぐち店が、一部地域を対象に移動スーパー「とくし丸」の運行を行っています。軽トラックに食料品や日用品など約400品目、1,200点を積んで販売しています。

イトーヨーカ堂花巻店は、花北、花巻中央、花南と矢沢、石鳥谷、東和各地区を、Aコープゆぐち店は、松園、花西、湯口、太田、笹間地区をエリアとしています。

なお、両店は高齢者の安心な生活の確保を目的とする「高齢者見守り支援ネットワーク事業協定」を市と締結しており、移動販売を通じて一人暮らしの高齢者の見守りも行っています。

(広報はなまき12/15号より)



北上川フィールドクラブが実施する「雪上体験」を楽しむ

「北上川フィールドクラブ」は、ラフティング（ゴムボートでの川下り）や水上遊覧などの自然体験を通じて、北上川の活性化を目指している団体です。

この団体が活動の拠点としているのは、十二丁目にある花巻スポーツランド。この場所の約6キロ上流のイギリス海岸付近から北上川を下るラフティングは、花巻市を訪れる修学旅行生などの人気を集め、毎年多くの団体が参加しているとのこと。

同クラブは、今年1月31日に花巻スポーツランドで「雪上体験」を行いました。この催しは、スノー

モービルが引くカヌーに参加者が乗り込み敷地内を滑走しながら自然に親しむもの。同クラブ恒例の冬の催しとなっています。参加した南城地区の子供たちは「早くてカヌーから落ちそうになったけど、面白かった」とスピード感のある雪遊びを楽しんでいました。（広報はなまき11/15号、2/15号より）



花巻東高から初めての東大合格 野球部出身大巻将人さん

高校野球では名門の花巻東高校から史上初の東大生が誕生、硬式野球部出身で浪人中だった岩手町出身の大巻将人さんが3度目の挑戦で東大の文科2類に合格しました。

大巻さんは「『苦しい時にも前向きに』の教えが受験にも生きた」と述べ、「メジャーリーガーの先輩達は子供たちに大きな夢を与えてきましたが、自分は花巻東から東大に初めて合格し、別の角度で影響や刺激を与えられる人間になりたい」と次の目標を明かしました。

中学時代から進学校の盛岡一にも合格できるほど

の学力でしたが「とにかく野球がやりたかったし、甲子園に行きたかったので花巻東を選んだ」とのこと。外野手として公式戦の経験もあるが、18年春夏連続甲子園出場時には記録員として貢献、センバツではプラカードを持って入場行進しました。

東大進学後は本格的に野球に取り組むつもりとのこと、神宮球場でその雄姿が見られるのもそんな遠いことではないと思われます。いずれにしても、野球部監督の佐々木イズムが学業でも成果を出したことは特筆すべきことでしょう。

(Yahooニュースより)

ホットスプリングの姉妹校と花巻北校がオンライン交流

姉妹都市米国アーカンソー州ホットスプリング市にある数理芸術高校（通称ASMSA）と花巻北高校が昨年11月4日にオンライン交流を行いました。

両校は平成28年9月に姉妹校提携を結びました。以来、毎年6月にASMSAの生徒が花巻北高校を訪問し、3月には花巻北高校の生徒がASMSAを訪問し交流を深めてきました。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止となり、ASMSAから打診がありオンラインでの交流が実現しました。

この交流には、ASMSAから日本語クラスの生徒5人が、花巻北高校から英語部の生徒や派遣事業に

参加予定だった生徒など9名が参加しました。

初めのうちは英語で話すことに緊張していた花巻北高校の生徒たちも、次第に緊張が解けて笑顔で交流を楽しんでいました。

(広報はなまき12/15より)



昨年のプロ野球ドラフトで花巻関連選手3名指名

川原田純平 19才（170cm） 内野手（右）
花巻中学から青森山田高校。ソフトバンクに4位指名。中学時代は花巻リトルシニアに所属。高校では1年生からベンチに入り、堅実な守備と勝負強いバッティングで3年の時青森大会で優勝。ただ、全国大会がなく甲子園出場はなかった。

佐々木健（タケル） 25才（179cm） 投手（左）
青森県の本造高校から富士大学、その後NTT東日本。西武ライオンズに2位指名。高校までは無名、大学に入って球速が大幅にアップ。社会人野球では球速152キロの直球と落差あるチェンジアップで活躍。

松本遼大 19才（187m） 投手（右）
滝沢二中から花巻東高。日本ハムに育成1位指名。3年生の時は控え投手。ただ、長身から投げる速球と多彩な変化球は評価が高い。

※一昨年の巨人のドラフト1位堀田賢慎（投手・右）（花巻北中学から青森山田高校）は、入団後右ひじを手術。今年は育成契約となりリハビリ中。

※ヤクルト球団で活躍した畠山和洋選手（湯口中、専大北上高卒）は、一昨年引退、球団の二軍打撃コーチとして活躍中。

(プロ野球選手名鑑一覧より)



今年3月11日東日本大震災から10年を迎えましたので、3ヶ月遅れですが2頁に渡り特集を組みました。

岩手へ

「在京花巻人会の理事 島山真さんが、平成23年(2011年)5月に教育関係の出版物に発表した文章の再掲載です。」



理事 島山 真

2011年3月11日の東日本大震災後の4月29日に東北新幹線の全線復旧を待ち、岩手へ行って来た。30日に「はやて」に乗り、まず甥が済む仙台へ、新幹線とはいえず、ゆっくりと進む。車窓から見る景色が気がつくことがあった。それは、栃木県までの田では水をはり、田植えの準備をしていたのが福島県に入ると景色は、まったく違っ

た。田んぼには、まったく水をはっていない。もう一つ気がついた。屋根に青いシートが数多く見え、郡山から福島まで続く。仙台上に着き、甥の家に行く。被害がひどかった若林区の隣にあり、3キロ先まで津波が来たという。なんとか助かったが、家の中は震度6強という事で洋服ダンスが倒れたままになっていた。本棚も倒れたままになっていた。ビスで補強はされていたが、意味がなかったらしい。また大きな余震があるのでないかと心配でそのままにしているそつだ。

甥の車で、実家のある花巻市に向かう。東北自動車道は、全線で復旧しており、速度を80キロ以下に抑えて進む。道路の両側は、まだ亀裂が残っていて怖い。花巻に着

き、夕食をとり花巻温泉に行く。大きいホテルが三つあり、真ん中のホテルは、避難所になっている。もう一つのホテルは、エレベーターで出会った人は警察の方で、山形県警となっていた。帰りのときは、神奈川県警の人ともすれ違った。警察の宿泊所になっているのだろう。

翌日、兄の車で中学まで過ぎた釜石市に向かう。花巻市から釜石市までは約100kmある。途中の遠野市は、自衛隊の中枢基地になっていた。おそろしく、釜石市、大槌町、陸前高田市の3方向へ行けるため、ここを中心に移動しているのに違いない。釜石市に着き、住んでいた所からすぐ近くの避難所になっていた。市民体育館に向かう。ボランティアはできないのかと聞くがもついっぱいですと丁寧に断られる。家から持って行った未使用の靴下とハンカチを置いてくる。室内からはむっとするようないきれと疲れた顔が見えてくる。釜石市の市街地に向かう。大丈夫な様子だったが、橋を渡って市街地に出ると景色は一変す

る。がれきと一階のない家、傾いた家、倒れた電柱、漁船が家に突っ込んでいる。がれきの中に2時46分で止まったままの時計と開いたままのランドセルも見つける。知り合いの家に立ち寄る。一階はかなり壊れているが、人の出入りした様子が伺える。市街地を車でゆっくりと走る。信号が機能していないので、警察官が交通整理をしている。とにかく流された車、引っくり返った車がやたらに目立つ。一番驚いたのは、数千トンもあるようなタンカーが岸壁に打ち上げられていた。津波の恐ろしさを改めて感じる。

釜石市でも一番被害が大きかったという鵜住居に向かう。途中の両石では、10メートルもあるう防波堤が一部壊れている。巨大な石の塊も木端微塵に砕け散る津波の怖さを本当に感じた。鵜住居では集落がほぼ全滅し、子どものときに泳ぎに行っていた砂浜も全くなくなっていた。井上ひさしの吉里吉里で有名な大槌町へ向かう。ここは町長も行方不明になり、遊覧船の「はまゆり」が民

家の上に乗っかっている。国道45号線の左右の街並みは、鉄骨の柱だけを残し、何も無い状態になっている。窓を閉めていのに、異様な臭いが車の中に立ち込める。海岸線の美しかった山田町から宮古市へ向かう。サケで有名な津軽石川の横を通っていく。川の両側で被害の大きさが分かれる。2・3m高い所を走る国道の左側は、1階部分が水に浸かったくらいでほぼ家屋はそのまま残っているが、川の右側の集落は壊滅状態になっていた。後で友人から聞いた話だが、友人の隣の学校のある校長は、震災のあった日に娘の結婚式のために午後から休みをとり宮古市の実家に向かっていたが、今でも行方不明になっているという。PTAの人たちが今でも探し続けているが、車は見つかったが本人は見つかっていないという。

今回、岩手に行ってみて、何もできなかった自分のやるせなさと無力さを痛感した。しかし、被災地の惨劇を実際に自分の目で見て、知ったことは意義があったと思う。自分が見てきたこと、感じたことを伝えていくこと、必要性を感じた。

釜石市を歩いていて何件かの店に貼ってあった紙が目に入った。

「全国から釜石まで来てくれた自衛隊の方、警察の方、そしてボランティアの方々、本当にありがとうございます。」

1300人以上も死者、行方不明者がいるのに、このように人に感謝する気持ちを忘れない姿勢に心を打たれた。

宮城県南三陸町の漁師の方の言葉が、今でも忘れられない。

「家は買えばいい。家族は売ってねえ。」

自分は、これから何をして行けばよいのかも一度考えていきたい。



東日本大震災と私



理事 菊池美津子

2010年5月のある日、中野の飲食店で夫の医師菊池利夫と宮古市出身の友人と一緒に飲みながらテレビを見ていた時でした。テレビのニュースが、医師免許のない女性が医師不足に悩む県立宮古病院の採用に応募し、着任直前に逮捕されたことを伝えました。宮古出身の友人からは、常勤医不在の宮古病院の窮状、さらには三陸の地域医療の危機的な状況の話が出て、菊池先生が宮古に来てくれたらどんなにか助かるのに、との声が届かず出ました。その時菊池は、私が花巻出身ということもあり、「1、2年なら海を見ながら過ごすのも良いかな」と軽い気持ちで応じたのでした。

ところがその後この宮古出身の友人が動き、岩手県や宮古市医師会から

正式な依頼が届くことになり、とんとん拍子に話が進みました。夫は2011年1月に宮古病院に赴任することが決まりましたが、当時は榊原記念病院の副院長という立場にあり、病院側からは「とにかく1年で帰って来てくれ」と念を押されたそつです。私と夫は2010年の大晦日に宮古に到着、宮古病院の宿舎に入りました。こうして、夫は副院長として宮古病院に着任したまさにその二か月後に、東日本大震災に遭遇することになったのです。

3月11日、私は東京の歯科病院で13時の予約が入っており、朝7時に宿舎を出ました。そして東京の歯科病院の診察中に大きな地震を感じ、診察後テレビのニュースで巨大な地震と津波が東日本を襲ったことを知りました。早速、夫に電話を入れたのですが全く通じず、やっと5日後に電話が通じ夫の無事を知ることが出来ました。その後宮古に帰る交通手段が無く、東京でまんじりともせず数日間を過ごすことになりましたが、9日後にやっと宮古行きのバス

に空席が一つ見つかり、帰ることが出来ました。ちなみに、菊池もこの日学会出席のため午後東京に出発する予定でしたが、14時過ぎに車で病院から一旦海岸から2km離れた宿舎に向かったところ、地震で避難する車の渋滞に巻き込まれたそつです。そこで、宿舎に行くことを断念し裏道を通って高台の病院に戻ったのですが、渋滞の中にいたら津波に巻き込まれるところを危機一髪で助かったようすです。その後の夫は、病院に泊まり込みで負傷者の診察・治療に当たったとのこと。激しい地震の揺れと強大な津波の力による惨い怪我の負傷者が多かったようですが、何より辛かったのは重篤な患者が多く、トリアージ(患者に優先順位をつける)を実施しなければならなかった事だったと言っています。

9日後に宮古に帰った私は宿舎に向かいましたが、幸い宿舎の一階は水浸しながら居住する二階は大丈夫、ただ、食料品の購入は難しく日用品も手に入れ難い状態でした。この時、助かったのが友人から送られてきた沢山の食糧品や衣料品で、今でも皆さんには本当に感謝しています。この間強く印象に残ったのは、避難所で会ったある男性のことです。消防団の一員として水門を締めに行った時に、家にいる家族(両親と妻、3人の子供)からどうしたらよいかとの電話が入り、津波の流木などを心配し家にいるよう話したのですが、結局家ごと流されて6人全員が亡くなったとのこと。後に、この方が自殺したと聞きました。

結局、夫の菊池は宮古病院に5年半籍をおき、その間県立山田病院の院長としても2年勤務、震災後の患者さんのケアと地域医療に献身的に努めました。医師不足に悩む医療現場に身を置き「医師としての原点を感じられた」と振り返っています。

2016年3月、1年のつもりが5年半になってしまいました。夫は東京の榊原厚生会に戻り、私も帰京することにしました。たまたま2015年5月に、在京花巻人会が幹

事となって実施した「ふるさと復興支援ツアー」の一行が宮古を訪問、私も現地参加で波板海岸のホテルで皆さんと一泊しました。これが縁となり、帰京後に在京花巻人会の理事に就任させて頂くことになりました。

10年と言ってもアツという間、私達夫婦は宮古での経験を昨日のように感じながら過ごしてきました。これからも、あの時感じた様々な思いを大事にしなごう、これからの日々を生きて行きたいと思えます。(談)

岩手日報社は震災10年に別冊特集号を発行するにあたり、以下のようなおコメントを出しています。

岩手日報の東日本大震災10年別冊特集号にメッセージ

岩手日報社は震災10年に別冊特集号を発行するにあたり、以下のようなおコメントを出しています。

「右手日報社は震災以降、被災地に寄り添い報道・広告を通して岩手の歩みを伝えてきました。長い年月を必要とする復興の途上、多くの支援への感謝とこれからの岩手を思う気持ちを含め、3月11日に、東日本大震災10年の別冊特集号を発行します。」

別冊特集号の広告面には、「東日本大震災10年を迎えた古里へ首都圏、





野球のこと



梅津興二(花中32年卒)

(この文は私が勤務した会社のOB会誌に昨夏寄稿したものをそのまま転載。また末尾に花巻小学校時代のことを追記しました。)

小学校3年の時の作文、「自分の夢」という題で「将来は、東京の後楽園球場の横に3階建ての家を造り、毎日のように巨人・阪神戦を観ることに…」と綴った。

土日の午後にはラジオで巨人・阪神戦があれば、川上・青田・藤村選手の活躍など、スコアブックをつけながら心を躍らせて聴いていたし、外での遊びはひたすら野球ばかりだった。

今から10年ぐらい前になるが、知人に誘われてある寿司屋に行った時に、その主人がカウターの向こうから「お客さん、1ヶ月前にその席にイチローが座り、隣に王さんが座りました。

イチローが予約時間より15分ぐらい前に到着し、当然ながらその席にお座りください、お茶を出しますと言ったのですが、イチローは決して座らず、王さんが来るまで立ちっぱなしでした。自分を含めてカウンターの他のお客様方はフリーズ状態でしたよ。イチローの一徹な性格はわかりますが、先輩に対しての心遣いには驚きました」と

話してくれた。

この二つの事を縁あって花巻東高校の佐々木洋監督(菊池雄星と大谷翔平を育てた)に話したところ、大変興味を持って聞いて戴き、恐れ多くもしばしば野球談議が続いた。

佐々木監督の選手育成方法、X線での骨質成長チェック、目標達成チャート、部員は若手県球児の限定、さらに部員全員の卒業後の進路ケアなど、本当にやる気を起こさせる心のもったお話を伺った。そして帰りに、「大谷翔平のサインボール」を戴いたんです。

その後、帰省の際は時々花巻東ナインの練習を見学したり、甲子園出場時には激励のメールを送信するなど親しくさせ

て戴いている。数年前には菊池・大谷両選手がオーブン戦で寄り添うサイン入り写真をくださり、それがサインボールと共に今や我が家の宝物となっている。

話は37・38年前に遡るが、NYで欧米拠点間の資金会議が行われた。会議後の中華料理店での打ち上げの時である。宴たけなわになったころ、スィス現法のM君が椅子を後ろにズリズリとすらし始めた。丸テーブルの斜めに座っていた私が「M君、どうしたんだ？」と聞いたら、彼は親指を後ろにさし、目配せをした。なんと彼の真後ろは長嶋茂雄の背中。

我々の方が先に座って盛り上がったので気

が付かなかったが、ちらっと見ると長嶋の他に王貞治、張本勲、それにスポーツ記者らしき人々を加えたテーブルだった。

頃合いを見送り、みんなで巨頭3人にサインをお願いした。長嶋さんのサインは天真爛漫、王さんと張本さんは我々一人一人に名前を聞いて〇〇さんへ、とサインしてサービスピ精神旺盛、張本さんは更に3000という数字(ご存知の安打数)を加えやや誇らしげだった。

偶然にもサインを貰うという瞬間的な出会いに過ぎなかったけれども、野球人として大成した御三人と直接お話を出来たことは嬉しかった。王・張本両氏とは同世代であり、今なお多方面で活躍されているのを見ると自分としても張り合いが出る。

更に、菊池雄星・大谷翔平選手の活躍や、若き獅子の佐々木朗希選手(右手卓大船渡高校出身)の姿がテレビに映ると、自分の少年時代の野球への夢とは程遠いものではあるが、何となく心高まる思いがするのである。

(追記)

私がプロ野球選手のプレーを初めて直に見たのは、花巻小学4年生の時である。プロ球団が地方巡業で盛岡に来るというので、近所の野球好きの8歳年上の人に握り飯を持って連れて行ってもらった。大映スターズともう一つの球団だったが、その球団の名前はどうしても思い出せない。大映スターズの主力投手「スタルヒン」がマウンドに立ち、ほぼ2mに及び背丈と立派な体躯の威容さ、その投げおろすボールの速さにただただ驚くばかり!!

それまでの大人の野球と言えば、日居城野球場の高校野球(小4にとつて高校生は大人)、花巻小学校での毎年恒例の町内毎の消防団対抗野球試合しか知らなかったの、スタルヒン以下のプロ野球選手の凄さに度肝を抜かれた思いだった。球場での大興奮と、盛岡駅〜盛岡県営球場の徒歩往復の小4にとつての長い道のり、この2つの事が今なお鮮明に記憶として残っている。



《首都圏で「花巻」と出会うコーナー》

首都圏で花巻発見「シードル(りんごのお酒)」

理事 梅津 豊

2020年の歩こう会が中止になったのはとても残念でしたが、ウォーキングコース近くの酒販店経営の立呑み屋を通りかかったらびっくり、「花巻・シードル」を宣伝するPOP看板を発見しましたのでご報告いたします。



酒販店さんに聞いてみると、日本では地方のビールで「地ビール」があるようにリンゴ生産地での「シードル(りんごのお酒)」の製造が拡まっており、品種によって味も香りも甘口から辛口まであるそうです。

市HPに依ると2016年11月～、県内初の果実酒専門の構造改革特区「花巻クラフトワイン・シードル特区」の認定を受けたとあり、オリジナルシードルを醸し出す醸造所がいくつもありました。

三ノ輪で販売されていた「アールペイザンワイナリー」もその一つ、2019年10月に花巻市幸田(釜石線の小山田～土沢)に開所された果実酒醸造所です。ここに限らず他にも醸造所はあります。ステイホームが続く日常ですが自分の好みに合った花巻の新たな特産品「シードル」を捜して見てはいかがですか!?

鈴木酒販 CIDRE Pomme sucee(シードル ポム・シュクレ) Art Paysan Winery

「鈴木酒販 小売部 オンラインショップ」

(shop-suzukishuhan.com) アールペイザンワイナリー

幸田4-35-1 ☎0198-41-8566

亀ヶ森醸造所

亀ヶ森第19割7-1 ☎090-2873-6939

もんのすけ農園

南万丁目1057 ☎090-7663-1490

若ノ海二世の店「椀ちゃんこ勝盛家」

会員 武井 美砂

「椀ちゃんこ専門店 勝盛家(かちもりや)」は川崎市仲見世通りにある。お一人様でも食べられる「椀ちゃんこ定食」は、海の幸と山の幸のWダシと豪華な具材で抜群の美味しさ。唐揚げもついて1000円ちょっと。

店主・松田一隆さんは、伊勢ノ海部屋の元力士で「勝盛」の四股名で幕下まで進んだ。店内には現役時代の髷・写真・番付など、相撲ファンにはたまらない。「勝盛家〇月場所」と称し場所中はお店のお客様に投票用紙を配って「推し」力士5名投票するお楽しみも。勝ち星+ボーナスの合計点で、上位にはサービスがある。投票すると大相撲観戦もつい真剣になり、面白い。

松田さんは、子供達にも「葵相撲道場」で相撲を指導している(横須賀市の大津公園相撲場にて)。「子供達に相撲を楽しんでもらいたい。大人になっても相撲に興味を持ち続けてくれるのではないのでしょうか。」と松田さん。この中から角界入りを決めた少年も生まれた。「相撲の投票も、子供たちの相撲道場も、相撲に関心を持つ人が増えて欲しいからです。」

松田さんの父は花巻市大迫町内川目出身の元幕内若ノ海。昭和40年代後半から50年代初めに活躍。しかし平成7年3月心不全のため急逝。49歳の若さだった。当時松田さんは目黒高校(現目黒学院高校)の2年生で相撲部員だった。父の死をきっかけに角界入りを決意した松田さん。

“大相撲観戦はこの店でしたい。”

住所：神奈川県川崎市川崎区東田町11-16

Tel: 044-280-6202

営業時間：ランチ月～金 11時30分～14時

ディナー 17時～21時 定休日：日・祝日



勝盛家の大将・松田一隆さん

「在京花巻人のつどい」の延期と「歩こう会」について

在京花巻人会の令和3年度は、新型コロナで上半期はほとんど活動が出来ない状況です。ただ、高齢者に対するワクチンの投与が9月ころまでには何とか行き渡ると予想されます。そこで、1頁に記載した通り、「在京花巻人のつどい」は11月28日(日)に開催を予定することに決めました。

又、「歩こう会」は、昨年度はたびたび延期を余儀なく

されましたが、今年は10月30日(土)に実施したいと考えています。場所は、これまで延期した「下谷～三ノ輪～北千住、樋口一葉ゆかりの下町散歩」です。

「在京花巻人のつどい」「歩こう会」については、改めて会報10月号でご案内致します。楽しみにお待ち下さい。

(編集部)